

# 草刈り管理手法による冬期の果樹園の緑草の低減

島根県中山間地域研究センター 竹下幸広・金森弘樹・澤田誠吾

## 1. 背景と目的

島根半島などでは、シカやイノシシによるカキなどの果樹への被害が増加しています。近年、果樹園において冬期に発生している緑草類が餌となって、シカやイノシシなどを誘引している可能性が高いことがわかってきました。そこで、当センターでは 2007～2009 年に果樹園における獣類の利用実態と冬期に獣類の餌資源となる緑草類の発生を抑制できる草刈りの管理手法の確立に取り組みました。

## 2. 獣類の果樹園の利用実態

### 1) 調査方法

2007 年 7～12 月と 2008 年 5～12 月、中国山地の江の川沿いにある島根県美郷町のカキ園（品種：西条、標高 300m）に自動撮影カメラを 3 台設置して、園内に夜間出没する獣類の撮影を行いました（写真 1）。



写真 1 カキ園に設置した自動撮影カメラ

### 2) 調査結果

2007 年の総撮影数は 104 頭であり、内訳はイノシシ 54 頭、タヌキ 37 頭およびキツネ 13 頭でした。月別の撮影頻度は、9～10 月に多くて、11～12 月には少なくなりました（図 1）。2008 年の総撮影数は 268 頭であり、内訳はイノシシ 131 頭、タヌキ 97 頭およびキツネ 24 頭でした。月別の撮影頭数は、8～9 月に多くて、10～12 月は少なくなりました（図 2、写真 2、3）。このうち、ほぼ年間を通して撮影されたイノシシは、果樹園において緑草を餌として利用していると考えられました（上田、2008）。また、イノシシの撮影頭数が夏期に多かったのは、8～9 月に収穫を迎えた近隣の水田に引きつけられたためと考えられました。一方、秋期に少なかったのは 10 月以降に好餌となるクリ等の堅果類の落下が多くなって、広葉樹林へ移動したためと考えられました。

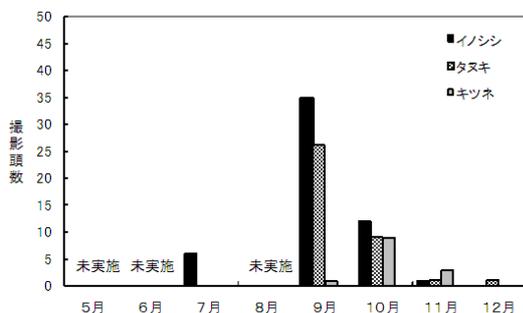


図 1 2007 年の獣類の撮影頭数

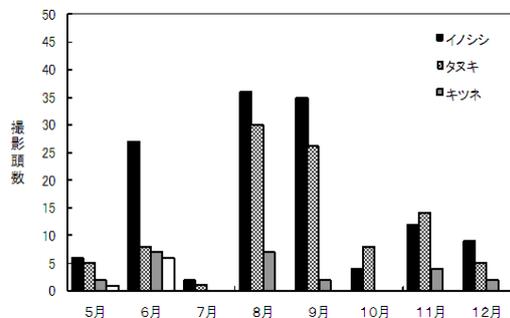


図 2 2008 年の獣類の撮影頭数



写真2 カキ園に現れたイノシシ



写真3 カキをくわえたタヌキ

### 3. 冬期に獣類の緑草類の発生を抑制できる草刈り管理手法

#### 1) 調査方法 (1)

2007～2009年の3回、同園内を草刈り機を使って、3回目の草刈り時期が異なるように下記の①～⑦の7区画に分けて、冬期(1月下旬)の緑草量(乾燥重量)を調べました (写真4、図3)。

- ①5月下旬、8月上旬の2回草刈りを行った区。
- ②5月下旬、8月上旬、8月下旬の3回草刈りを行った区。
- ③5月下旬、8月上旬、9月下旬の3回草刈りを行った区。
- ④5月下旬、8月上旬、10月下旬の3回草刈りを行った区。
- ⑤5月下旬、8月上旬、11月下旬の3回草刈りを行った区。
- ⑥5月下旬、8月上旬、12月下旬の3回草刈りを行った区。
- ⑦無除草区



写真4 美郷町のカキ園 (5月)

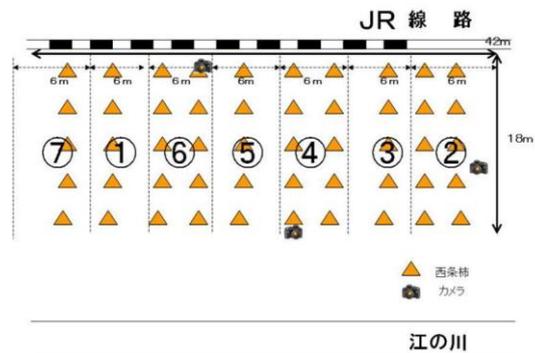


図3 美郷町カキ園の区画設定

#### 2) 調査結果 (1)

島根県美郷町のカキ園において、最終除草時期が8月上旬～9月下旬に比べて、10月下旬以降は冬期の緑草量が少なくなる傾向がありました (図4、写真5)。

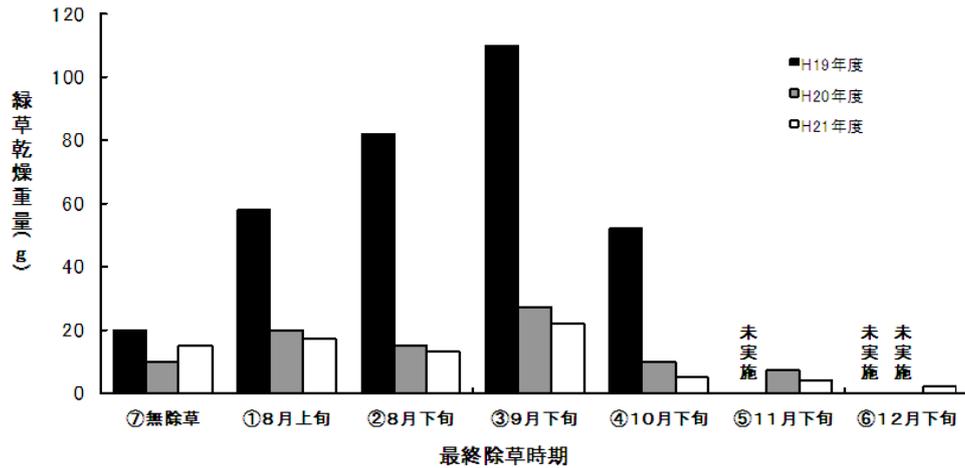
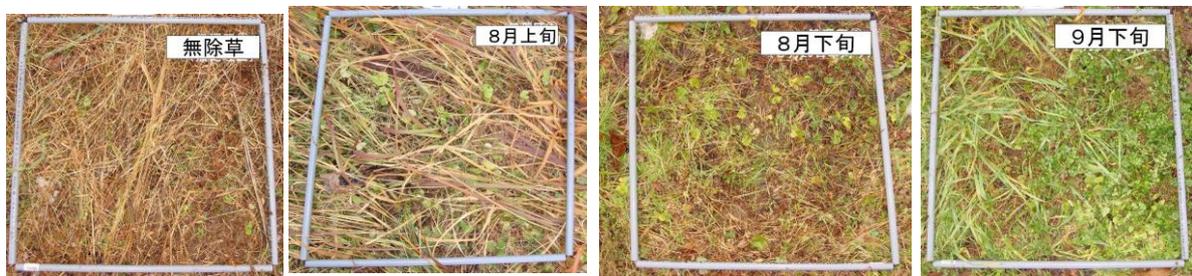


図4 美郷町のカキ園における冬期の最終除草時期別の緑草乾燥重量（1区画当たり4プロット0.6×0.6mの平均値）



⑦無除草 ①最終除草 8月上旬 ②最終除草 8月下旬 ③最終除草 9月下旬



④最終除草 10月下旬 ⑤最終除草 11月下旬 ⑥最終除草 12月下旬

写真5 美郷町のカキ園における冬期の最終除草時期別の緑草の状態（0.6×0.6mのプロットの枠あり）

### 3) 調査方法（2）

2007～2009年、島根半島（出雲市、標高20m）において、各農家が実施している最終除草時期が異なる12か所の農家のカキ園（品種：西条または富有）で冬期（2月上旬）の緑草量（乾燥重量）を調べました。

### 4) 調査結果（2）

美郷町のカキ園での結果（1）と同様に、最終除草時期が8月下旬、9月下旬に比べて、10月下旬以降は、冬期の緑草量が少なくなりました（図5、写真6）。したがって、10月下旬以降に最終の除草を行えば、冬期の緑草量は少なくなって草丈も低くなるため、野生獣類の冬期の餌場としての利用価値は大きく低下すると考えられました。また、冬期の緑草量の多少は、除草回数よりも最終除草時期の違いによって決定されると考えられました。

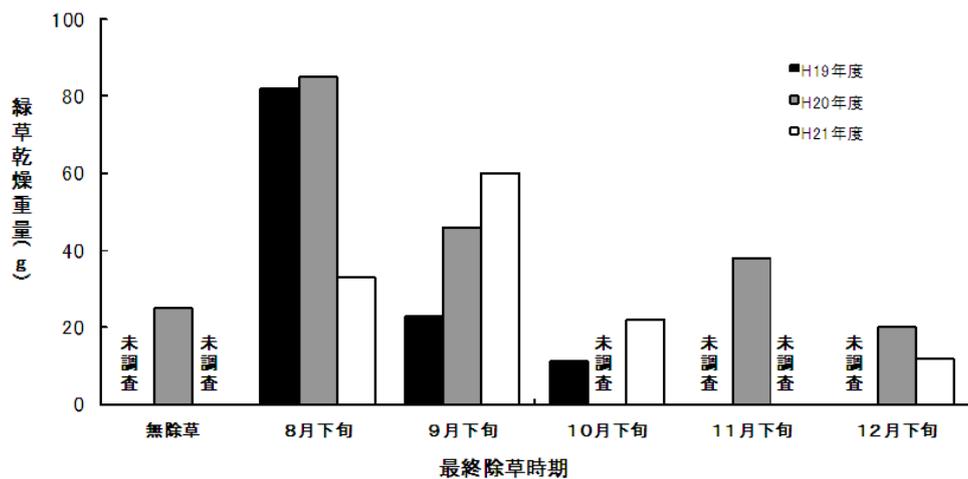


図5 島根半島（出雲市）の農家のカキ園における冬期の最終除草時期別の緑草乾燥重量（1カキ園当たり4プロット0.6×0.6mの平均値）



最終除草 8月下旬



最終除草 9月下旬



最終除草 12月下旬

写真6 島根半島（出雲市）の農家のカキ園における冬期の最終除草時期別の緑草の状態

#### 4. 参考文献

上田弘則（2008）：冬期の寒地型牧草地はイノシシ（*Sus scrofa L.*）の餌場となる 日本草地学会誌 54(3)：244-248